

「令和7年度多治見市資金運用実績」の公表について（報告）

1 結論

会計管理者は、毎年度の歳計現金、歳入歳出外現金及び基金積立金の保管と運用を行っており、「多治見市資金管理運用方針」に基づき令和7年度の運用実績を公表するもの。

2 歳計現金・歳計外現金の管理・運用実績

会計管理者が管理する現金は、日々の支払いに充てる「歳計現金」と市県民税や職員の所得税、保険料などを一時的に預かっている「歳計外現金」がある。

通常は決済性預金で保管をしているが、すぐに支払いを行わない「歳計現金」については1年未満の定期預金で運用。

表1 令和7年度歳計現金及び歳計外現金の保管状況（月末残高）

月	現金残高	決済性預金	定期預金
4月	3,206,030千円	3,206,030千円	
5月	9,393,703千円	9,393,703千円	
6月	8,296,090千円	4,796,090千円	3,500,000千円
7月	7,828,115千円	4,328,115千円	3,500,000千円
8月	7,362,478千円	3,862,478千円	3,500,000千円
9月	8,727,758千円	5,227,758千円	3,500,000千円
10月	5,691,607千円	5,191,607千円	500,000千円
11月	6,177,064千円	5,677,064千円	500,000千円
12月	5,588,550千円	5,588,550千円	
1月	4,427,078千円	4,427,078千円	
2月	4,347,002千円	※1 4,347,002千円	
3月	7,078,040千円	※2 7,078,040千円	

※決済性預金は、全額保全される代わりに利子が付かない預金（基金も同様）

※1 決済性預金のうち3,400,000千円は基金からの繰替運用

※2 決済性預金のうち4,000,000千円は基金からの繰替運用

表2 歳計現金の運用実績（年間利子額）

年度	年間利子額	決済性預金	定期預金
R5	503千円	—	503千円
R6	642千円	—	642千円
R7	9,520千円	—	9,520千円

3 基金の管理運用実績

本市では、現在35の基金を設置。基金の現金は決済性預金で保管を行い、当面基金を取り崩す予定のない部分については、定期預金及び債券で運用。

表3 基金の保管状況（年度末残高）

年度	基金全体	決済性預金	定期預金	債券
R5	26,807,931千円	4,918,504千円	17,682,190千円	4,207,237千円
R6	27,270,892千円	6,793,174千円	15,788,190千円	4,689,528千円
R7	27,299,249千円	※ 8,607,260千円	10,850,190千円	7,841,799千円

※決済性預金のうち4,000,000千円を歳計現金へ繰替運用

表4 基金の運用実績（年間利子・利金額）

年度	基金全体	決済性預金	定期預金	債券
R5	38,689千円	—	13,089千円	25,600千円
R6	43,298千円	—	15,123千円	28,175千円
R7	86,440千円	—	42,260千円	44,180千円

4 まとめ

（1）歳計現金及び歳計外現金

- ①歳計現金の潤沢な期間に、短期の定期預金での運用に努めてきている。
- ②金利引き上げ等、運用益の確保には好ましい状況を迎えており、年間利子額は対前年度から887万8千円の増加。引き続き効率的な運用に努める。

（2）基金

- ①基金全体の残高は、前年度から約2,800万円の増加。
- ②定期預金での運用は原則、1年間の定期としている。令和6年度預入時では金利動向に大きな動きがあり、比較的大規模な基金について新規に定期預金・債券で運用する等により、年間利子・利金額は、前年度から4,314万2千円の増加。

- （3）定期預金での運用はもとより、債券の効率的な運用も含め、資金管理運用方針にのっとり、今後も確実かつ有利な資金運用に向けた検討と実践に努める。